

## PRESTO® A40

### 6リットルリアクターの加熱 -10 °C から +20 °Cまで

#### Objective

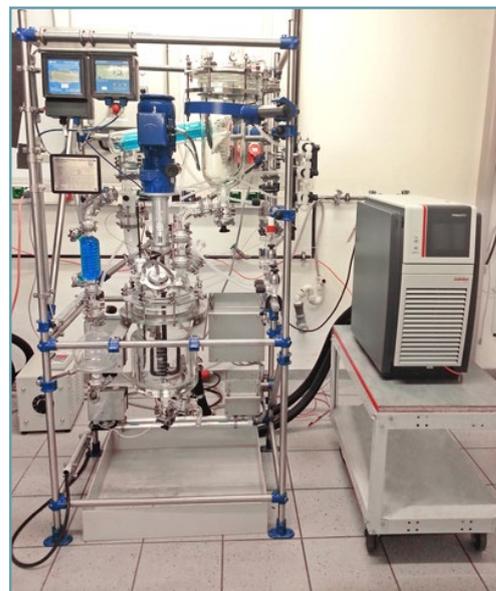
このケーススタディでは6リットルガラスリアクターを使い、PRESTO® A40 の加熱能力をテストします。PRESTO® A40は2mのメタルチューブによりガラスリアクターに接続されており、-10 °C から +20 °Cに加熱する様にプログラムされています。

#### Environment

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

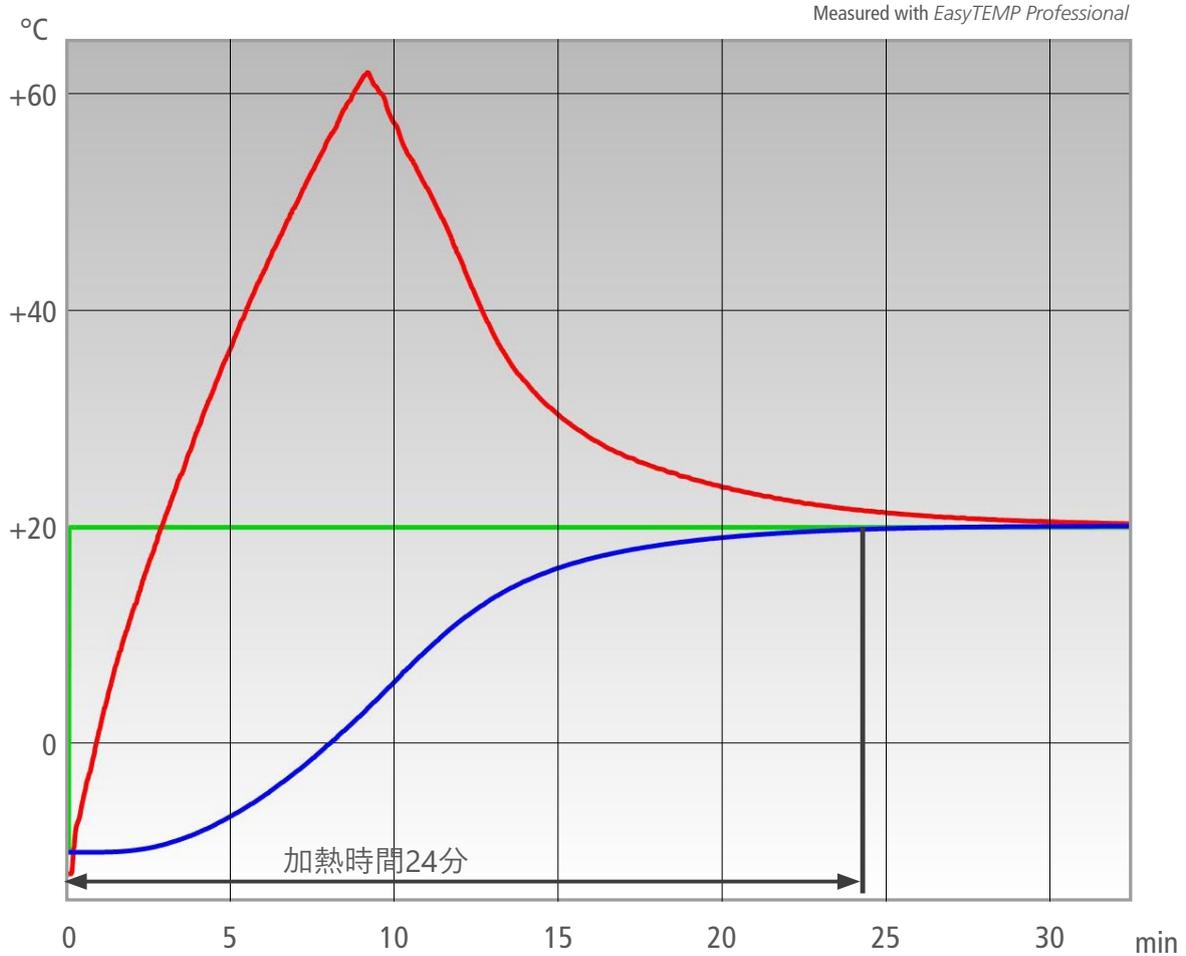
#### Test Conditions

JULABO ユニット	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	行わない
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマル HL60
リアクター	6 リットルガラスリアクター (QVF) 循環液 5 l サーマル HL60
ガラスジャケット	4.5 l
コントロール	外部制御 (ICC)



## Test Results

The PRESTO® A40 はオーバーシュート無しで -10 °C から +20°C の加熱時間は24分でした。



- 設定温度
- リアクター内部温度
- リアクタージャケット温度

### Tip

PTFEコーティング仕様のPt100温度センサーもあります。



### Tip

チューブアダプターを使えば、チューブの捻じれを防止出来ます。

